

自動走行車による解決可能な行政課題について

- 実証エリアにおいて、自動走行車を活用することにより解決できる行政課題についてご記入ください。
- 交通不便地対策、高齢者対策など複数テーマがある場合は、それぞれご記入ください。

市町村名 岡崎市

テーマ 障がいのある子どもたちについて、医療と福祉を効率的につなぐ

現在岡崎市では、愛知県が愛知県三河青い鳥医療療育センターを建設している（平成28年4月完成予定）ほか、福祉の村内に子ども発達センターを建設する（平成28年度中完成予定）等、障がいのある子どもたちへの支援に力を入れている。

障がいのある子どもたちは、医療・福祉面での支援が必須であり、日常的にそれら施設に赴くことが想定されるが、それらをつなぐための民間のバスルートは存在しておらず、利便性がよいとは言えない状況にある。

そこで、障がいのある子どもたちと、医療（岡崎市民病院）、福祉（福祉の村）の拠点を自動走行車につなぐことができれば、さらなる支援を行うことができると思う。

自動走行車の実験走行ルートについて（複数ルート提示も可）

1 区間（出発地点→到着地点）

愛知県三河青い鳥医療療育センター→岡崎市民病院→福祉の村

2 地理条件（バスルートの有無、地域の状況を記入）

名鉄バスのバスルートと一部重複するが、終点が中央総合公園であり、「愛知県三河青い鳥医療療育センター」までのバスルートは存在していない。

3 道路条件（参考の「2 道路条件」について記入）

① 走行ルートは約3km

② ~⑥の条件はクリアしている。

4 その他（参考の「3 その他」について記入）

①、②ともに可能。

5 走行ルート（地図）



(1) 実験車両待機場所（候補）

福祉の村



(2) 道路の様子（1～2カ所）



(3) 出発地、到着地（スーパー、病院など）

福祉の村出入口

市民病院出入口

愛知県三河青い鳥医療療育センター（建設中）

